

かがわのブランド力の強化・向上へ！地域資源販路拡大支援事業

2024年4月～2025年3月実施予定 (公益財団法人かがわ産業支援財団)

【課題】

香川県の中小企業者等の経営基盤は脆弱で、経済情勢等の変化や地域間競争・国際競争の激化により様々な影響を受けやすい。地域間競争に打ち勝つためには、香川県ならではの地域の強みを最大限に生かすことが不可欠であるが未だ不十分であることから、中小企業者等からはブランド化や販路拡大に繋がる事業への関心は非常に高い。そのため、蓄積された強みとなる資源・技術をさらに磨き、市場動向や消費者ニーズを把握し販路拡大を図っていきたいという要望が根強い。

【目的】

商品開発から販路開拓まで一貫した継続的な支援を行うことで、全国展開さらには海外展開を目指すことができ将来的に伸び行く中小企業者等の経営力向上に寄与するとともに、県内産業の振興と地域経済の活性化を図る。

【都道府県の施策との連携・親和性】

香川県が掲げる政策である「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画（令和5年10月策定）に合致した事業計画を策定するにあたり、香川県と様々な企業ニーズを把握するための情報共有を行うとともに、香川県と協議を重ね、指導・助言を受けるなどの連携・協力を図り、事業を実施している。

本事業の内容

《地域資源活用輸出商品開発支援事業》（10,000千円）

県内中小企業者が創意工夫して行う地域の資源を活用した海外市場向けに輸出する商品の開発、戦略的な情報発信等による海外販路拡大のための実効性のある新たな取組みを支援する助成金を交付する。

《地域資源販路拡大支援事業》（9,000千円）

香川県が掲げる実現計画の重点施策を踏まえ、既存事業に加え、首都圏等でのオリーブや希少糖、地場産品など主要な地域の資源に特化した販路拡大のための機会の提供やブランディング等についての講座の開設、商品の試験販売を実施することによる商品開発・提案力の向上させる総合的な支援を行う。

【かがわ魅力発見事業（地域資源活用型食品見本市出展事業）】（676千円）

オリーブや希少糖、機能性表示食品といった香川県の産品をリードする地域の資源に特化し、首都圏又はオンラインで開催される食品見本市への出展を支援する。

【かがわ魅力発見事業（販路開拓支援事業）】（5,424千円）

商品開発や販路開拓に課題を持つ地域資源を活用した商品を扱う中小企業者等に対し、ブランディングの重要性、販路設計・コミュニケーション戦略等についての講座を実施することで、主体的に販路開拓を行えるように支援する。

【マーケティング支援事業】（2,000千円）

関西圏の商業施設等でテスト販売を実施することなどにより自社商品のブランド力強化を図ることで、食品関連事業者が販路拡大、商品開発力や提案の強化や海外展開ができる県内中小企業者を企業者を育てて、県経済の活性化に繋げる。

【地域資源コーディネート事業】（900千円）

上記助成金事業等の幅広い利用を促進するため、コーディネーター等を配置し、シーズの発掘やブラッシュアップ等の支援を行う。

【成果目標】

○直接的成果目標

- ・助成金交付事業：助成件数5件
- ・食品見本市出展：商談件数60件
うち成約件数1割程度（出展直後）
- ・販路開拓支援事業：肯定的
評価80%
- ・マーケティング支援：肯定的
評価80%

フォローアップ支援をすることで新規販売先の獲得又は売上を伸ばす成果につなげる。

- ・コーディネート事業：相談件数10件

幅広い利用促進と確実な事業遂行につなげる。

○間接的成果目標

- ・助成金交付事業終了後3年以内の事業化率70%以上、開発商品の売上高の前年度からの増加

【波及効果】

支援を受けた中小企業者が、地域に根付いた資源を戦略的に情報発信し、広く事業を展開することで、地域外から地域内にヒト・モノ・カネを引き込むことも見込まれ、新たな雇用創出などにより地域にヒトが根付くことで地域活力が生まれ、地域経済の発展に寄与する。

【将来の支援目標】

かがわの地域資源の認知度向上及び販路拡大のため、効果的な事業は引き続き継続するとともに、新たな販路拡大支援策を実施することで、本県の付加価値率（製造業）を全国平均より高い水準にする。